

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
経済学史	経済問題を歴史的に読み解く	高橋 真悟	2 年次後期
講義の目的	この講義では、経済に関するさまざまな問題を、経済学の歴史から読み解いていきます。市場経済・財政・金融・貿易・社会保障といった経済的論点を歴史から学習し、現代経済に対する知識・見解を深めることを目的とします。		
到達目標	過去の経済学者の学説を理解したうえで、現代における TPP などの貿易問題やブラック企業などの雇用問題、そして財政・金融の諸問題をより深く理解するとともに、これらの問題に対する自分の考えを言えるようにすることを到達目標とします。		
講義内容	経済学史は「経済学の歴史」で、各時代を代表する経済学者の学説を扱います。時代は 18～20 世紀が中心ですが、随時、現代日本の経済問題と結びつけながら講義を進めていきます。具体的には、前半でアダム・スミスなどの古典派経済学者を扱います。後半では、今日の経済学の直接的な基礎になっている学説を中心に講義を進めていきます。予備知識は必要ありませんが、経済に興味がある方の受講を歓迎します。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション（授業概要・運営方法の説明）	
	第 2 講	重商主義と重農主義	
	第 3 講	アダム・スミスと市場経済	
	第 4 講	復習と演習（1）～重商主義、アダム・スミス～	
	第 5 講	マルサスと人口問題	
	第 6 講	リカードと国際貿易	
	第 7 講	復習と演習（2）～マルサス、リカード～	
	第 8 講	限界革命とミクロ経済学	
	第 9 講	マルクスの資本主義論	
	第 10 講	復習と演習（3）～限界革命、マルクス～	
	第 11 講	ケインズとマクロ経済学	
	第 12 講	反ケインズの学説	
	第 13 講	復習と演習（4）～ケインズと反ケインズ～	
	第 14 講	総復習（1）重要学説の復習	
	第 15 講	総復習（2）論述問題の復習	
方法指導	講義はプリントを中心に行いますが、適宜、映像資料も使用する予定です。また、毎回授業内課題として論述問題に取り組んでもらいます。		
授業外学習	授業前の事前学習として、次回取りあげる経済学者がどのような人物で、どのような学説なのかを簡単に調べておいてください。事後学習としては、過去の経済学説が現在のどのような問題と結びついているかを意識して、配布した練習問題を復習してください。		
成績評価の方法	本試験（筆記試験）60%、平常点（授業内課題）40%		
ステキ	特になし。毎回プリントを配布します。		
書籍参考	中村達也・八木紀一郎・新村聡・井上義朗『経済学の歴史』有斐閣アルマ、2001 年。		
事項記			